

文学研究科

【アドミッション・ポリシー】

文学研究科は、実証的な基礎研究に重点を置く文化形態論専攻と文化表現論専攻、および現代的な課題を研究する分野横断的な文化動態論から成り、多岐に渡る教育・研究を進めています。

文学研究科では、上記の大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ研究科のこの特質にしたがって、人文学の修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。試験は以下の方法により、人文学研究に意欲的な人を受け入れます。

1. 博士前期課程の一般選抜では、各専門分野における研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 修士課程の一般選抜では、各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および実践的応用力を考査する筆記試験と、問題意識、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
3. 博士後期課程の一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。
4. 社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。
5. 留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。